

施策	取組	区分	事業	内容	担当課	可否	可否の理由	協議結果	短期成果（事業の成果）	中期成果（取組の成果）	長期成果（施策の成果）	
（１）起業支援・企業誘致の推進	起業・新事業創出の支援	継続	新たな仕事と雇用創出支援事業補助金	市内での起業や、新事業等に参入する企業等に対し、設備投資や雇用に支援する。	商工課	可	市内における起業や既存事業の機能強化、新たな分野への取組みや地域雇用を創出するために必要な支援。 また、少子高齢化による高齢者の増加やコロナ時代を踏まえた支援として移動販売・キッチンカーの開業に使える補助金などの導入も検討する必要があるため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	市内で起業する人、市内企業の新事業展開が増える。	若者世代に魅力のある職場の選択ができる。	
	企業誘致の推進	継続	企業誘致推進事業	産業振興と雇用促進を図るため、企業誘致活動を展開する。	商工課	可	本市の優位性の周知を図り企業進出が進むようにするため、積極的な企業誘致活動を行う必要があるため。	拡充	Uターン者が就職できる企業を増やすため拡充する。	市内に進出する企業が増える。		空き公共施設が減少し、多様な産業が展開される。
		継続	新たな仕事の場活用調査補助金	空き公共施設等を利活用し事業を展開する企業に対し支援する。	商工課	可	企業進出のインセンティブとなるための補助金による立地支援のために必要があるため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	空き公共施設の利活用が進む。		
（２）「人」と「しごと」のマッチングの仕組みづくり	企業の経営基盤強化	継続	中小企業人材育成事業補助金	市内中小企業の社員の資格取得等への支援を行う。	商工課	可	中小企業が技術力や経営力の強化を図るために行う人材育成のための支援で、経営基盤の脆弱さや経営資源確保の困難性等の問題を克服する必要があるため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	市内中小企業の事業活動が活性化する。	中小企業社員のスキルアップにより経営の安定化が進む。	市内既存産業と若者のマッチングによる労働力人口の増加により市内産業を維持できる。
	若者を中心とした雇用の促進	拡充	Uターン地元企業マッチングイベント	Uターン者に南房総市の企業を知ってもらう機会を提供する。	商工課	否	平成30年度に実施した市主催のイベントでは、地元企業へのマッチングには繋がらなかった。また令和元年度に実施したハローワーク主催のマッチングイベントでも成果は上げられなかった。今後は、市内企業の雇用環境をより良くし、若者に魅力ある雇用の場を作る必要があることから、「新たな仕事と雇用創出支援事業補助金」による企業の経営基盤強化や「企業誘致推進事業」などに注力する必要があるため。	検討	市内に就職したいところがないという若者の意見が多く、地元企業マッチングイベントでは成果が得られなかったため、企業誘致に力を入れてからマッチングイベントを実施できるよう検討する。その他「人」と「しごと」のマッチングの仕組みづくりを検討していく。	Uターン者の市内企業就職者が増える。	Uターン者の雇用が増加し、市内企業の若返りが進む。	
		継続	Uターンによる起業・就業者創出事業	東京23区等からの移住者で起業や就業する者に支援金を支給する。	企画財政課	可	移住希望者に「選ばれる」まちとなるためには、適切かつ効果的な情報発信等を継続的に実施することが必要なため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	南房総市への移住と起業・就業を検討する。		
		継続	再チャレンジ奨学資金	離職者等の起業や就業のための修学資金に対し、貸付を行う。	商工課	可	奨学資金の返還免除や減額の制度により、本市で暮らすこと、本市で起業することの動機づけが可能であるため。	変更	利用者の少なさや国の支援策が充実しているため、制度の変更について再検討する。	経済的負担を軽減し、市内での起業家、就業者が増える。		
	農業・水産業の担い手の確保・育成	継続	新規就農者支援事業	新規就農者の確保及び育成を図るため、技術・知識の習得、受入体制の整備、経営安定化を支援する。	地域資源再生課	可	新規就農者の支援については今後も継続して行っていくため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	新規就農者の育成や研修生の受入体制強化、農業法人などの設立に努めることで、新たな担い手の確保と育成を図る。	担い手が確保され、一次産業の安定的な経営ができる環境が整う。	
		拡充	農業振興法人支援事業	J A と共同で設立した、農業支援センターの事業の運営を支援する。	地域資源再生課	可	農業支援センターで実施する研修事業などの拡充を進めるため。	拡充	新規就農者を育てるシステムづくりに取り組み、農家の下支えになるような担い手育成を拡充する。			
		継続	漁業後継者育成事業	担い手確保・育成のため、漁業就業者を支援する。	農林水産課	可	募集、育成することで漁業就業者の増加を図るため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	漁業への関心を高めることで、漁業就業者が増える。		
（３）地域資源を活かした南房総市産業の振興	農産物のブランド化と販路の拡大	継続	特産品振興事業	ピワ等のブランド強化により販路・消費拡大を図るため、産業基盤を整備する。	農林水産課 地域資源再生課	可 可	農林水産課：市重点品目であるピワの生産振興を図るため。 地域資源再生課：販路・消費拡大を目指す取り組みは継続して実施するため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。 効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	地域資源のブランド力が高まり、新規就農者が増える。	南房総市特産物の知名度が高まり、所得の向上、経営の安定化が進む。	市内特産物や地域資源が多様な形で生かされ、一次産業や観光産業が継続的に維持できる。
	水産物のブランド化と販路の拡大	継続	水産振興事業	アワビ等のブランド強化により販路・消費拡大を図るため、産業基盤を整備する。	農林水産課	可	アワビ等のブランド強化により販路・消費拡大を図るため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	地域資源のブランド力が高まり、新規漁業就業者が増える。		
	異業種連携による新たな商品などの開発	継続	農商工連携等推進事業	農林水産物を活用した商品開発等を促進し、販路開拓を推進する。	地域資源再生課	可	商品開発を進める事業者への支援は継続して実施する予定のため。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	市内外で市内産物の流通が拡大する。		
	地域の特色を活かした観光拠点の整備・充実	継続	道の駅の多機能化推進整備事業	道の駅を核に横断的・一元的推進体制を構築し地域ビジネスと稼ぐ力を創出する。	観光プロモーション課	可	道の駅は地域振興施設としての役割を果たす必要があり、売売所やECの強化に取り組むとともに、地域資源再生課と取り組んでいる総合加工場を活用して、地域産品を活用した商品開発を行い、稼ぐ力の向上に取り組む。	継続	効果的事業のため、引き続き事業の継続を図る。	各道の駅の商品力・収益力と生産者所得が向上する。	道の駅の活性化により、生産者の経営の安定化及び生産者数が増加する。	
	豊かな自然を生かした多様なツーリズム	拡充	自然体験活動推進事業	市内の豊かな自然環境を活かした、観光商品を造成し、関係事業者の連携を促すことで地域の担い手を確保・育成し、稼げる南房総観光を確立する。	観光プロモーション課	可	星室保護区の取り組みなど新たなコンテンツ作りや自然体験の商品造成の充実を図る取り組みを進める。	拡充	自然豊かなところを売りとしたサステナブルーツリズムやアドベンチャーツーリズムなどに取り組み、自然体験活動推進事業を拡充していく。	アウトドア体験を求める新たな客層の取り込みが見込め、観光客が増える。	商品及びガイドの数と質が向上し、当市にアウトドアのイメージが定着する。また、大型案件にも対応できるようになる。	